

3 認知症を地域で支える

正しく理解し見守る心。求められていることは、何も特別なことではありません。

特別なことではなく、温かく見守る応援者に

認知症の人は、記憶がなくなっていくことや、できていたことができなくなるなど、大きな不安や悲しみを抱えています。また、その家族は介護への不安や心配に苦しんでいます。認知症は、誰でもなりうる病気。決して他人事ではありません。

では、認知症の人やその家族へ、私たちができることは何でしょうか。

皆さんに紹介するのが認知症サポーターです。認知症サポーターとは「なにか特別なこと」をやる人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず温かい目で見守る「応援者」です。

認知症の人やその家族が自分らしく安心して生きられるまちにするためには、地域に一人でも多くのサポーターが必要です。そしてそれができるのは、私たち一人一人なのです。

INTERVIEW

認知症サポーターに聞きました

消防団員として、地域のひとりとして



かけはし まさひろ 真砂寛 さん

小林市消防団第10分団第6部 部長であり、認知症サポーター

既存の活動だけでなく地域課題に対応を

私が部長を務める消防団に、のじり地域包括支援センターの職員がおり、消防団員も認知症への理解を深めてほしいと、相談がありました。

私の亡くなった祖母も認知症でした。介護の大変さを母から聞いていたので講座の必要性を理解しました。

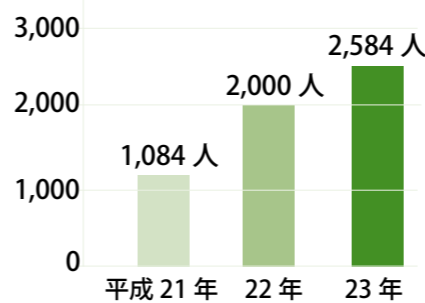
消防団では、月に1回集まって勉強会を開いて

います。その場を活用し、消防団でのサポーター養成講座を提案しました。講座では、症状から対応の仕方など分かりやすく説明がありました。心に残っているのは、介護の末の悲劇を題材にしたDVD。悲しい現実にも涙を流して見ました。介護する家族の苦勞、支えてくれる人がいないことの悲惨さを痛感せずにはいられませんでした。

まずは知ることから

認知症について、知っているのと知らないのでは大きく違うと思います。今後、地域を守る消防団員として、地域に生きる一人の人間として、できることから取り組んでいきたいです。一人でも多くの人にサポーターになってもらいたいですね。

DATA 小林市の認知症サポーター人数



市では人口の約半分 2万5千人の認知症サポーターを目指しています。

NETWORK

メール配信で早期発見・保護を図る

愛優見でつなげ。見守りの輪

市では「小林市徘徊見守りSOSネットワーク（愛優見ねっと）」を立ち上げました。これは、市の防災メールを活用して、行方不明者の情報をメール配信することで、発見、保護につながるものです。現在、警察や消防と連携し、事業所で働く人などから多くの協力が得られています。そこで、万が一徘徊など

で行方不明になった場合に備え、本人の情報を事前に登録する仕組みを作りました。徘徊の心配などある人は、登録をおすすめします。

対象
市内在住の高齢者などで、徘徊により行方不明になる可能性のある人

登録方法
事前登録届に必要な事項を記入し、登録窓口へ提出

登録に必要なもの

- ・本人の顔がはっきり分かる写真（新しいもの）
- ・印鑑（本人と申請者）

登録窓口

- ・小林市地域包括支援センター 1 階 TEL 25・0707
- ・のじり地域包括支援センター 1 階 TEL 44・2271

※個人情報目的以外には使用しません。

MESSAGE

支えあう地域に

認知症の人に寄り添うやさしいまちへ

誰でも発症の可能性がある認知症。私たちの身近なところにも、その病に苦しむ、悩んでいる人がいるかもしれません。そして、介護に苦しみ、心配が尽きない家族がいるかもしれません。

認知症を他人事ではなく、みんなが正しく理解し、支えあう地域になれば、病

気や介護の苦しみから少しでも解放されるのではないのでしょうか。

誰が認知症になっても、笑顔で暮らせるまちにするために。そして、自分が認知症になったとしても、自分らしく安心して生きられるまちであるために。私たち一人一人ができることから始めてみませんか。



オレンジリング

「認知症サポーターの証」。認知症サポーター養成講座を受講した人に渡しています。

ロバ隊長

「ロバ隊長」は、「認知症サポーターキャラバン」のマスコットです。



INFO あなたも認知症サポーターに

市と地域包括支援センターでは、地域や団体などの皆さんから希望があれば、いつでもどこでも認知症サポーター養成講座を開催します。講師を派遣し、DVDや教材を用い、認知症について分かりやすく説明します。詳細は気軽に問い合わせください。

問 ▶ 介護保険課
連絡先 ▶ 23-1140

問 ▶ 小林市地域包括支援センター
連絡先 ▶ 25-0707

問 ▶ のじり地域包括支援センター
連絡先 ▶ 44-2271

INFO 高齢者の相談窓口

高齢者の皆さんが住みなれたまちでいきいきと元気に、安心して暮らしていけるように、専門職などを配置し、介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から高齢者とその家族を支える相談窓口です。

問 ▶ 小林市地域包括支援センター
連絡先 ▶ 25-0707

問 ▶ のじり地域包括支援センター
連絡先 ▶ 44-2271

心つなぐ
オレンジリング
～認知症を正しく理解し支えるために～